

第62回 社会を明るくする運動

〈標語の部 金賞〉

思いやり みんなをつなぐ たからもの

小澤一平君 〈美小5〉

気がつけば 手をさしのべる

君がいた 畑谷圭治君 〈美中3〉

〈作文の部 金賞〉

「けんかして、話して、笑って」

藤田結菜さん 〈美中2〉

今年で第62回目となる「社会を明るくする運動」が全国的に催されている中、7月9日、北後志では5町村の保護司会や関係団体による車両パレードや各町村への法務大臣と北海道知事からのメッセージの伝達式などが行われ、犯罪や非行のない社会づくりへの協力を求めました。

また、町では、同運動の強調月間に合わせ応募された町内の小中学生131点の標語・作文の中から13作品の入選が決定。13日には、余別地区コミュニティセンターを会場に住民集会が開催され、入選者への表彰が行なわれたほか、同運動の広報映画などが上映されました。



積丹町標語・作文入選作品

◆標語の部◆

〈小学生の部〉

金賞	思いやり みんなをつなぐ たからもの	美国小5年	小澤一平君
銀賞	父、母は えがおを広げる、配達員。	美国小4年	岡本夏樹君
銅賞	ありがとう えがおになれる おまじない。	美国小5年	小原楓君
佳作	おうちはね かぞくがつくる いこいのば	美国小6年	窪内涉君
佳作	心こめ、今日も、あしたも、あいさつを。	美国小5年	長島晃介君

〈中学生の部〉

金賞	気がつけば 手をさしのべる 君がいた	美国中3年	畑谷圭治君
銀賞	咲かせよう 輝く笑顔 満開に	美国中3年	伊藤優香君
銅賞	あいさつは 仲間を笑顔にする魔法	美国中1年	西川亜紗加君
佳作	人はみな 支えあって 生きてゆく	美国中1年	川崎佳恵君
佳作	君の手に 差し出す勇気と 優しさを	美国中3年	長島真太郎君

◆作文の部◆

金賞	「けんかして、話して、笑って」	美国中2年	藤田結菜さん
銀賞	「言葉」	美国中1年	野呂大空さん
銅賞	「人々への思いやりや心づかい」	美国中1年	川崎佳恵さん



美国小学校児童

ウニの生態を学ぶ

積丹町の夏の風物詩『ウニ』は、当町の産業や生活を支えるとても大切な資源です。

7月12日・13日の2日間に分けて美国小学校（野島照久校長）では、当町の地域資源『ウニ』の生態について知ってもらおうと、ウニを題材にした冊子「ウニから見える積丹の自然と暮らし」を活用してウニの生態観察の授業が行われました。

授業には、東しゃこたん漁協美国地区浅海部会白川浩治部会長ら3人の漁師も参加。同部会からキタムラサキウニとエゾバフンウニ各20個が提供

され、子どもたちは実際に手に取り、ウニの体のしくみやトゲや管足を使って歩いたり、でんぐり返しをする様子などを学びました。

授業に参加した白川さんは、「子供たちの反応も良く海を身近に感じてもらえたと思う。これからも、海の生き物に実際に触れ、体で感じてもらえるような授業をお手伝いできれば。」と話していました。

▲美国小3年生の授業の様子



授業に使用され冊子には、ウニの体のしくみのほかウニを使った料理、ウニが知らせる海の変化など、積丹のウニに関する内容が詳細に書かれています。

表紙の絵：積丹の海で遊んだ子供たちの絵画より